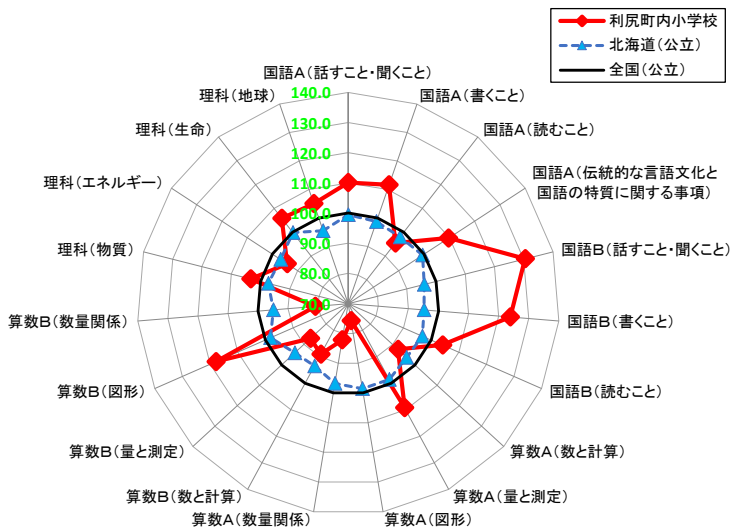


■利尻町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:17人)

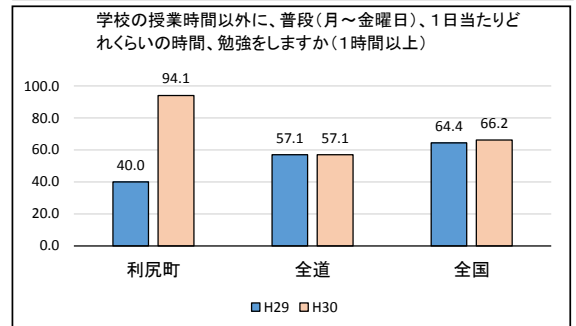
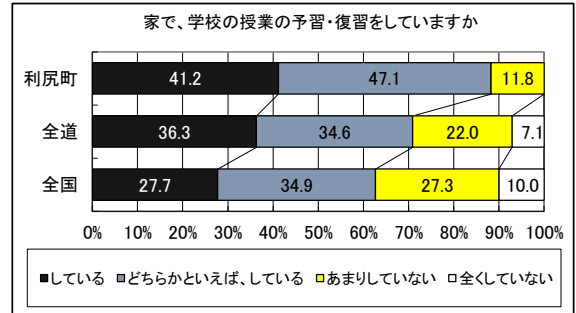
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

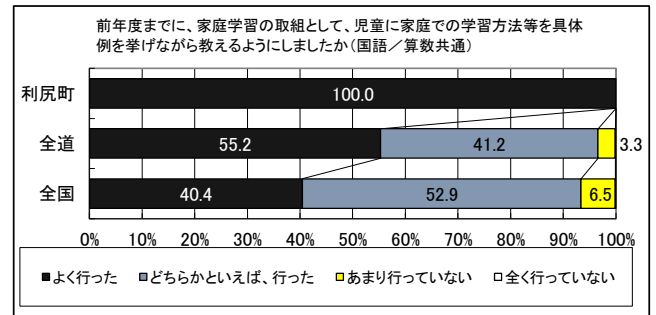
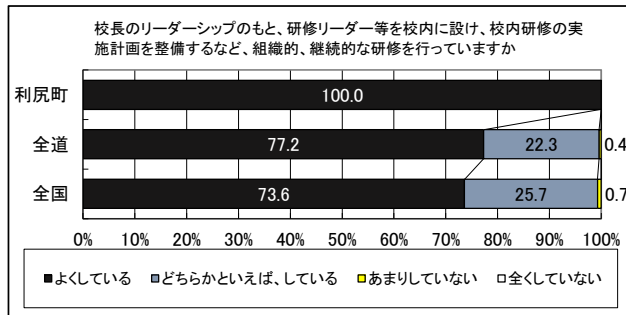
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「生命」「地球」で全国を上回っている。	○ 校長のリーダーシップのもと、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行ったことにより、日常の授業改善が進み、国語、算数及び理科の複数の領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 各学校において、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えたことにより、家庭での学習習慣が身に付き、「学校の授業の予習・復習に取り組んでいる」と回答した児童の割合が全国を上回るとともに、家庭で1時間以上勉強をしている児童が前年度を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答している。 ○ 全ての学校が、「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った」と回答している。	

【利尻町の学力向上策】

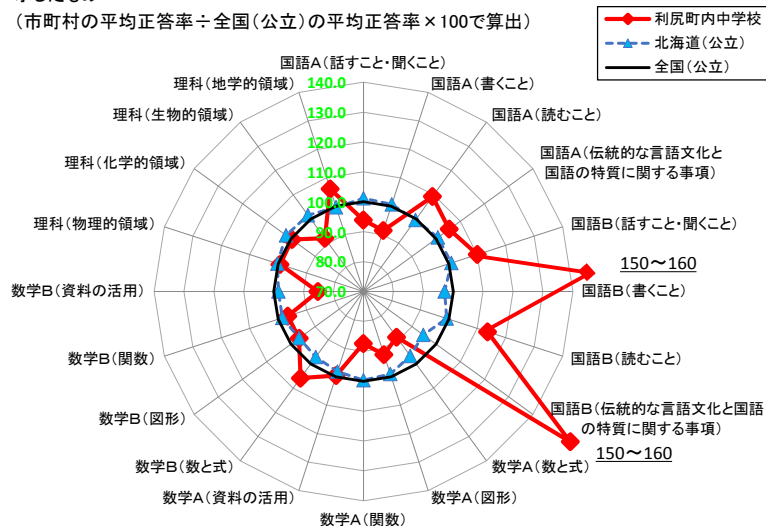
- ◎ 利尻町で作成した独自の問題集の活用
- ◎ 地域のボランティアを活用した合同学習の実施
- ◎ 学校ごとの学力向上プランの改善

■利尻町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:17人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

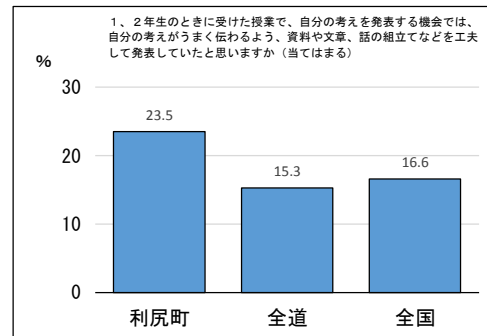
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



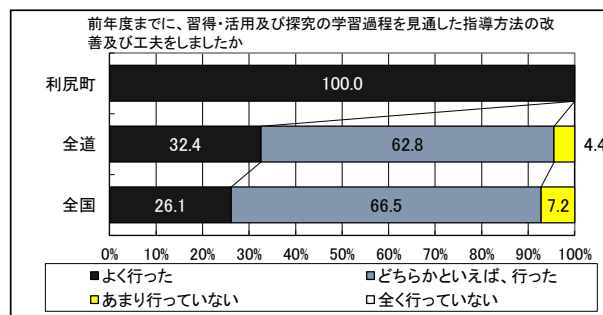
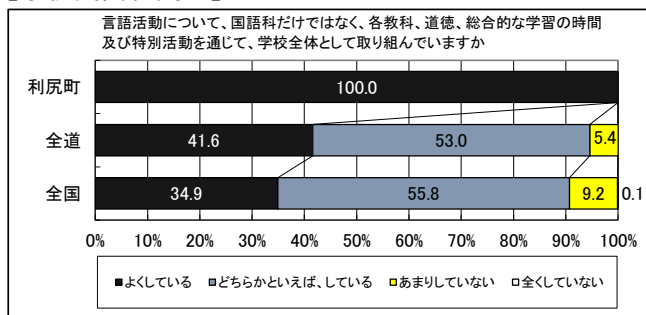
【平均正答率及び全国との差】

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
利尻町	78.0	69.0	60.0	45.0	65.0
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1
全国との差	1.9	7.8	▲ 6.1	▲ 1.9	▲ 1.1

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは「数と式」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「地学的領域」で全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、生徒が考えを発表する機会の充実が図られ、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、学んだことを活用して学習に取り組む授業改善が図られ、国語Bの全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした。 ○ 言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ。	

【利尻町の学力向上策】

- ◎ 利尻町で作成した独自の問題集の活用
- ◎ 地域のボランティアを活用した合同学習の実施
- ◎ 学校ごとの学力向上プランの改善